

流れる「たい」に祈りを込めて 7/14

「平谷の流したい」中川根南部小の児童らも参加しにぎやかに

大井川に「たい」と呼ばれるたいまつを流して1年間の無災害を祈願する町指定無形民俗文化財の伝統行事「平谷の流したい」が行なわれ、区民や中川根南部小の児童らが参加しました。

材料を持ち寄った区民らは、麦わらを束ねて作った直径3センチほどの台座の上に青竹の先端を短冊状に裂いたたいまつを乗せて組み立て、無災害を祈願し大井川に流して奉納しました。

瀧尾政之瀬平区長（60歳）は「南部小の子どもたちが毎年になぎやかな雰囲気してくれて、とてもありがたい」と話しました。



麦わらに火が移らないように水を掛けながら流しました

7/4 南アルプスの魅力を多くの人に

寸又峡口で安全祈願祭とトレッキングイベントを開催



厳かな雰囲気の中で行なわれた神事

山開きを迎えた南アルプス寸又峡口で、夏山シーズンの到来を祝い登山の安全を祈願する神事が執り行われ、関係者ら約50人が出席しました。主催したまちづくり観光協会の望月孝之会長は「エコパーク登録から1周年の今シーズンは、特に情報発信に重点的に取り組み、多くの人に魅力を伝えていきたい」とあいさつしました。

同日午後からは、林道平田線を歩くトレッキングイベントが開催されました。参加した約20人は、長島ダムや接岨湖を眼下に見下ろしながら、約10キロの道のりを楽しみました。

いつまでも元気に暮らすために 6/24

認知症を遠ざけ楽しく暮らすための講座が開催されました

町地域包括支援センター主催の「元気はつらつ教室」が地名区集会所で開催され、区民を中心に約70人が参加しました。

はじめに、同センター職員が4月に改正された介護保険の概要とその理由について、紙芝居を使って分かりやすく説明しました。次に、認知症に関する情報をまとめた冊子「認知症あんしん手帳」を紹介しました。教室の最後には「脳が喜ぶことをしよう」をテーマに、職員の手ほどきで音楽に合わせて体を動かす健康体操が企画され、会場内には参加者の笑い声が響きました。



わかりやすい紙芝居①と健康体操に笑顔を見せる参加者②

断ります「黄色いうちわ」でキッパリと 7/10

役場企画課と福祉課が毎年開催する研修会、今年は高齢者も参加し直接的な注意喚起を図った

高齢者見守りネットワーク構成員をはじめとする各種相談員の研修会が開催され、民生児童委員や人権擁護委員、高齢者見守り協定を結ぶ民間企業などから約200人が参加しました。

中部県民生活センター不当取引指導員の櫻井由利氏が高齢者から多く寄せられる相談の具体事例を挙げて対策を説明したほか、相談員同士の情報共有を目的としたシンポジウムも行なわれました。また、訪問販売を断る一助として「いきりません！」と書かれた黄色のうちわが配布され、全員で被害防止への決意を新たにしました。



参加者全員で訪問販売の断り方を練習しました

7/1 見守りと声掛けで明るい安全な町へ

「社会を明るくする運動」「夏の一齐街頭指導」同日開催で呼び掛け



雨が降る中、呼び掛け運動を行なう参加者

明るいまちづくりの会による「社会を明るくする運動」街頭啓発と県交通指導員会連合会による「夏の一齐街頭指導」が町内6カ所で行なわれ、約100人が参加しました。

当日はあいにくの雨模様の中、保護司・更正保護女性会・駐在所警察官・学校関係者・民生児童委員・人権擁護委員・交通指導員らが、通勤・通学中の町民に向けて犯罪や非行の防止および交通安全を呼び掛けました。千頭駅前では運動に参加した鈴木町長は「皆さんの見守りや声掛けが地域力の向上につながる」と話しました。

発足2年目で「快拳」新たな挑戦へ 6/14

小学生陸上大会で町内小学生2名が優秀な成績

全国小学生陸上競技交流大会静岡県選考会が静岡市の草薙陸上競技場で開催されました。

町内からの参加選手では、湯口峻祐君（中川根南部小5年）が5年男子100m走で3位に、鈴木篤郎君（中川根第一小5年）が男子走り高跳びで6位にそれぞれ入賞しました。2人は、8月23日に長野県で行なわれる東海5県小学生陸上競技大会に出場します。県内の伝統ある強豪陸上クラブ所属選手に交じり、発足してまだ2年の「かわねライフスポーツクラブ陸上教室」に所属する2人が、快拳を達成しました。



激走で3位入賞を果たした湯口くん(写真㊦)のレース